

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	1669
課題名	膵癌および膵前癌病変におけるヘジホッグ関連因子の発現制御に関する研究
研究期間	西暦 2014 年 1 月 21 日 ～ 2015 年 3 月 31 日
利用する情報、検体	<p>■ 診療情報（詳細： ）</p> <p>■ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：膵臓）</p> <p><input type="checkbox"/> 血液</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2000 年 1 月 1 日 ～ 2013 年 11 月 1 日</p>
研究の意義、目的	膵臓癌は難治性の癌でその治療は近年目覚ましい発展を認めていますが、まだまだ満足のいくものではなく、新しい膵臓癌治療の開発が望まれております。ヘジホッグ経路は膵臓癌の発癌過程に重要な役割を果たすことが報告されており、私どもも、このヘジホッグ経路に注目して、そのメカニズムの解析の研究を進めており、最近、動物実験で新たな発見が見つかりました。本研究は、この発見を人でもおこっていることを確認することを目的とします。これにより新しい膵臓癌治療の開発に一步近づくものと期待しております。
研究の方法	過去の膵臓癌、前癌病変（膵管内乳頭状粘液腫瘍）で手術をされた患者様の手術後の組織を用います。すでに診断を終え、保存されている組織で、患者様に新たにご負担いただくものではありません。この組織でヘジホッグ関連因子の免疫染色を行います。免疫染色は手術後の病理診断で一般に用いられている解析方法です。さらにその組織から DNA を抽出し、ヘジホッグ関連因子に対するメチル化解析を行います。メチル化によって遺伝子の発現が制御されており、どのようにヘジホッグ関連因子が制御されているかと解析します。
個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：旭川医科大学内科学分野消化器血液腫瘍制御分野 氏名：笹島 順平 電話番号：0166-68-2462